

# 地域活性 ヒント学ぶ

## NPO代表 山梨の先進例で講演

小城市

山梨のNPO 富地区を拠点にNPOを立ち  
法人「えがおつ 上げ、都市と農村を結ぶ活動  
なげて」代表理事の曾根原久 司氏による「まちづくり講演  
会」が15日夕、小城市の小城 公民館であった。県内外のN  
POや行政の関係者ら約50人 が、曾根原氏の先進的な取り  
組みを聞き、地域活性化のヒ  
ントを学んだ。

曾根原氏は、金融機関など  
の経営コンサルタントを務め  
ていたが、バブル崩壊をきつ  
かけに山梨県北杜市白州町に  
移住。2001年に過疎高齢  
化が進んでいた限界集落・増

この日の演題は「小城市の  
田舎は宝の山」。曾根原氏は  
ボランティアによる耕作放



地域資源を生かした活性化について講演する曾根原久司氏—小城市の小城公民館

棄地の開墾や企業と連携し  
た農村再生、都市住民を招い  
た農業体験バスツアー、小型  
水力発電や間伐材の残材を

活用した農村エネルギーの研  
究開発などを紹介。「都市  
のニーズをどうプランニング  
するかが重要。まずは足元の  
地域資源を見つめて」と話し  
た。

質疑応答で「小城市をコー  
ディネートするならどうす  
る」の質問に、曾根原氏は「こ  
の地域は歴史資源の深さが特  
徴。歴史などを媒体とした情  
報発信をすれば面白いかもし  
れない」と答えた。

講演会は、小城市内に存在  
するさまざまな地域資源を町  
の活性化に生かそうと、佐賀  
県CSO推進機構や同市が開  
いた。  
(瀬戸健太郎)